



第72期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

○ 株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社出身者としては、初めて代表取締役執行役員社長に就任し3年目を迎えております。当上期（2021年4月1日～2021年9月30日）は、新型コロナウイルス感染症拡大により5度目の緊急事態宣言が発令された中、操業を維持し、事業を遂行してまいりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、民間設備投資に回復の動きがみられ、5G（第5世代移動通信システム）関連の需要や電動化／高機能化に向けた自動車関連の需要が堅調に推移しました。

このような中で、2021年度連結上期業績は、売上高が前年同期比5.5%増加の96億48百万円、営業利益が前年同期比2.8倍の9億50百万円という結果を出すことができました。これは、プロセス改革や意識改革を進めるとともに、上記事業環境により増加した新しい部品の接合ニーズに対し、最適な接合アプリケーションを開発提案するなど全社一丸となって高い目標に向かって努力した成果です。

また、キャッシュ・フローの改善にも取り組み、借入金を増やすことなく、優先株式の取得・消却を実施いたしました。

好調な上期業績ではありますが、下期につきましても、更なる業績向上に努め、自ら投資資金を作り出し、改革や投資を行い、強固な事業基盤の確立を進めてまいります。さらに、当社の今後の成長に欠かせない新市場への積極展開を行うなど、全社一丸で積極果敢に挑戦を続けてまいります。

今後も、事業を通じて社会貢献を進めるとともに、株主の皆様、お客様、お取引先様、投資家の皆様との信頼に基づいた企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

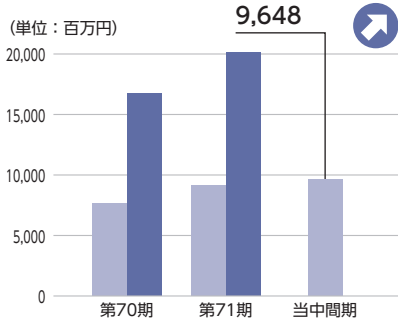
2021年12月

代表取締役執行役員社長 竹内正人

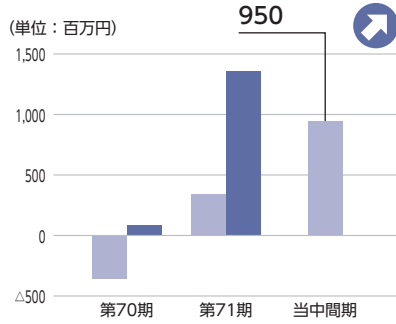
【当上期連結業績】

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する四半期純損益
当上期 (前年同期比)	96億48百万円 (5億5百万円増加)	9億50百万円 (6億8百万円増加)	9億32百万円 (6億46百万円増加)	8億73百万円 (5億50百万円増加)

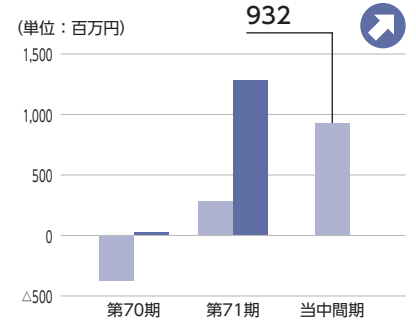
売上高



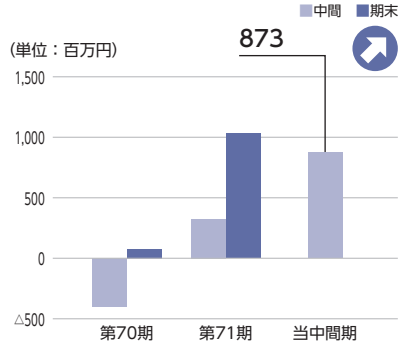
営業損益



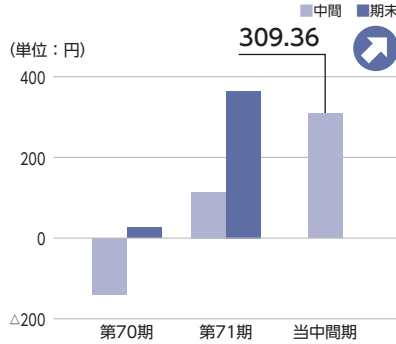
経常損益



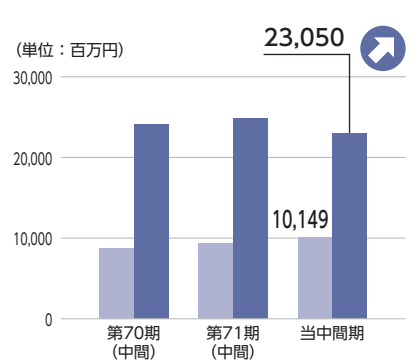
親会社株主に帰属する四半期純損益



1株当たり四半期純損益



純資産・総資産



○ セグメント別の概況

Review of Segments

連結売上高構成比

情報システム 56.3%

電子機器 43.7%

情報システム

連結売上高

54億32百万円
(前年同期比2.9%減)



主要プロジェクトの端境期により減少

セグメント利益

3億29百万円
(前年同期比4億17百万円改善)

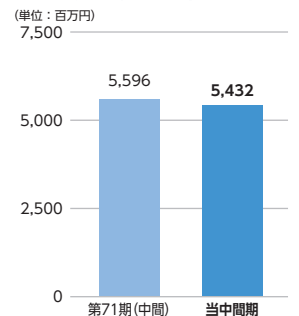


継続しているQCD (品質・コスト・納期) 改善活動の成果により改善

主要製品：表示・音響関連装置、誘導・搭載関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC



連結売上高推移



電子機器

連結売上高

42億16百万円
(前年同期比18.9%増)



接合機器において5G関連需要が堅調に推移、赤外線機器も生産設備用途需要が増加傾向

セグメント利益

6億21百万円
(前年同期比1億90百万円改善)

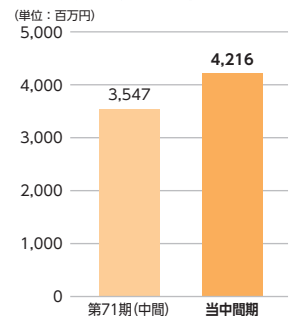


接合機器の売上高増加により改善

主要製品：接合機器、赤外線機器



連結売上高推移



当期のこれまでの主要トピックス

業績好調の要因

情報システム事業
QCD改善活動が進み利益率が向上。

電子機器事業（接合機器）
5Gの進捗により水晶デバイス市場が、自動車のEV化により自動車部品関連市場がそれぞれ好調。

電子機器事業（赤外線機器）
スマート保安等のインダストリアル（産業）市場に注力展開。

10月28日 | 第2四半期決算発表

- 営業利益が前年同期比2.8倍の9億50百万円を達成。

6月11日 | 第2種優先株式取得・消却

- 借入金を増やすことなく、1百万株を日本電気株式会社から、約10億2百万円で取得し、消却。

7月29日 | 第1四半期決算発表

- 親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比3億53百万円改善の1億79百万円と黒字転換。

2021年

8月26日 | 新市場区分選択決議

- 2022年4月4日に移行が予定される新市場区分について、スタンダード市場を取締役会決議。

6月9日 | サーモカメラモジュール【C50A-FS】発表

- 入退室管理システムやセキュリティゲートへの組込みに最適な、発熱者スクリーニング用の高性能サーモカメラモジュールを発表。



サーモカメラモジュール
InfReC FSシリーズ C50A-FS

6月23日 | 第71期定時株主総会

- 本社移転に伴い、従来の四ツ谷から新横浜の会場に変更。

譲渡制限付株式報酬制度導入

- 当社の取締役、当社の企業価値の持続的な向上をはかるインセンティブを付与するとともに、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として導入。

会社の概況 (2021年9月30日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 1960年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 689名 (連結) 607名 (単独)
- 証券コード 6946
- 拠点所在地
 - 本社 横浜市都筑区池辺町4475番地
 - 横浜事業所 ※ 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
 - 新横浜事業所 横浜市都筑区池辺町4206番地
 - 中部支店 名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
 - 西日本支店 大阪市淀川区西中島一丁目11番16号
 - 福岡営業所 福岡市博多区比恵町二丁目24番606号
 (注) ※の事業所が登記上の本店所在地となります。
- 子会社
 - 福島アビオニクス株式会社
 - 福島県郡山市待池台一丁目20番地

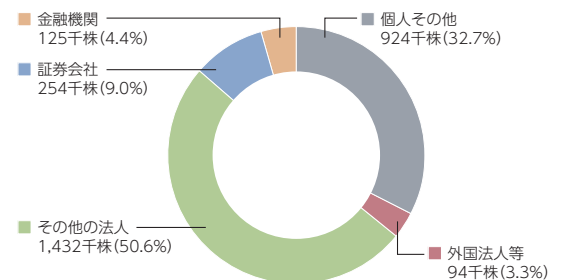
○ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

Stock Information

	普通株式	第1種 優先株式	第2種 優先株式
(1) 発行可能株式総数 8,000千株	7,600千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式総数 4,073千株	2,830千株	783千株	460千株
(3) 株主数	3,293名	1名	1名

(注) 1. 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。
 2. 2021年6月11日付で、日本電気株式会社から取得した第2種優先株式を1,000,000株消却しております。

所有者別分布の状況 (普通株式)



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日、期末配当金 毎年3月31日、中間配当金 毎年9月30日
 その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 0120-782-031
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>
- 公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/ir/index.html>
 ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
 ⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
 ⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。



日本アビオニクス株式会社

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4475番地
 TEL. 045-287-0300 <https://www.avio.co.jp/>

